

心房細動に対する肺静脈隔離術を受けたことがある  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用し、獨協医科大学埼玉医療センターを代表機関とする多機関共同臨床研究を行います。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

Deep learning による画像解析を用いた心房細動患者に対する肺静脈隔離術の再発予測の正確性の検証

【研究の背景と目的】

心房細動に対する肺静脈隔離術の有効性は確立されていますが、現在でも約 20%の患者において術後の再発を認めています。心房細動が再発する要因は報告されていますが、治療の可否の判断につながるようなデータは未だに得られていません。

現在 Deep learning（コンピューターにデータを蓄積し、自動的に解析する技術）に代表される AI（人工知能）を用いたデータサイエンスの医学研究が循環器の様々な分野でも進んでいます。今回の研究は、心房細動に対して肺静脈隔離術を行った患者さんの診療情報を使用して、画像解析を用いた AI システムを構築し、心房細動に対する肺静脈隔離術の再発予測に関し正確に予測・評価できるかを検討します。正確に予測・評価が可能であった場合は、今後の心房細動治療の最適な治療方針の決定に寄与する可能性があります。

【対象となる方】

2014 年 1 月 1 日から 2022 年 6 月 30 日まで間に当院にて肺静脈隔離術を施行した心房細動患者さん

【使用する診療情報】

- 患者さん情報；性別、身体所見、喫煙歴、高血圧症・糖尿病の有無、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）の有無、持続性心房細動の有無と期間、心不全症状の有無、塞栓症の有無、
- 検査結果；採血
- 画像データ；心電図、レントゲン、心臓 CT
- カテーテル情報
- 治療情報

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長の許可日（2024 年 10 月 7 日）から 2025 年 4 月 30 日まで実施され、1500 名の患者さんが対象となっています。

【個人情報の保護】

収集されたすべての患者情報はデータ化し東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学（研究責任者；五十嵐 中）へ提出されます。「患者さん情報」を移行する際はロックのかかったデバイスに記録、記録デバイスは直接研究室に運びます。東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学研究室で AI システムを構築し、得られた結果を獨協大学国際教養学部言語文化学科（研究責任者；和田 一郎）にて統計解析を行います。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。収集したデータは、個人が特定できないように通し番号など付記したのち、研究代表者の厳重な管理のもとで保管され、解析が行われます。

【結果の公表】

この研究の研究成果は循環器関連学会で発表、関連雑誌に投稿予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究代表者】

獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 学内講師 堀 裕一

【共同研究機関】

AI システムの構築

東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学 客員准教授 五十嵐 中  
特任研究員 吉原 浩之

統計解析

獨協大学 国際教養学部言語文化学科 教授 和田 一郎

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 循環器内科 担当者：堀 裕一（学内講師）

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-4924（医局直通）

受付時間 月～金曜 9：00～17：00

以上